

# 広島市植物公園 見どころ案内

**オミナエシ**  
(オミナエシ科)  
秋の七草として知られていますが、実際の開花期は盛夏です。日当たりのいい草地に黄色の花を咲かせます。

**展示会のご案内**

- ◇展示温室 (8/22~8/30)  
変化朝顔展
- ◇展示資料館 (8/8~8/31)  
おし花美術作品展

**変化朝顔** (ヒルガオ科)  
江戸の園芸文化を現代に伝える変化朝顔約200点を展示しています。当園では、昭和57年から変化朝顔の栽培・展示を継続しており、公的機関としては日本で一番長い栽培・展示の歴史があります。

**モンキーオーキッド**  
(ラン科)  
花が猿の顔に似ているため、モンキーオーキッド(オーキッドはランの意味)と呼ばれています。いろいろな猿顔が見られますので、見比べてみてください。

**タマノカンザシ**  
(キジカクシ科)  
ギボウシ属の一種で、夏に長い花茎を伸ばし、漏斗状の純白の花を咲かせます。花は夜に開き、芳香があります。直射日光下では葉が焼けるので、植栽箇所のような落葉樹の下が生育に適します。

**ヒマワリ‘サンフィニティ’**  
(キク科)  
花は少し小ぶりですが、枝分かれして多くの花をつける品種です。一面のお花畑をお楽しみいただけます。

**ゴールデンチェーンツリー**  
(キントラノオ科)  
ブラジル原産の常緑樹。黄色い小花が鎖状につき、長さ1m以上に垂れ下がるように咲きます。国内の植物園での開花は珍しい植物です。

**エビスグサ** (マメ科)  
黄色の花とともにさやが育ちつつあります。生薬の決明子(けつめいし)は本種の種子で、緩下などの作用があります。また、ハブ茶の材料は本来、ハブソウが用いられていましたが、現在は収量の多いエビスグサが用いられることが多々あります。

**サガリバナ** (サガリバナ科)  
夜間開園の目玉植物で、花は夜に咲き、翌朝には落花します。自生する西表島では、早朝に水面に落ちた花を見るツアーも開催されています。

**ヤブラン** (キジカクシ科)  
常緑の多年草で、ほとんど手がかからないので花壇の縁どりなどによく用いられます。花の少ない8月ごろに花茎を伸ばして小さな淡紫色の花を無数につけ、秋にかけては実も楽しめます。

